

日本学術会議 総合工学委員会・機械工学委員会合同
計算科学シミュレーションと工学設計分科会

計算科学を基盤とした産業競争力強化の検討小委員会
第24期・第4回 会議議事録

日 時 平成31年1月10日（木） 13:00～15:00

会 場 日本学術会議5階 5-B会議室

出席者 佐々木直哉、金田千穂子、大出真知子、宇佐見護、萩原一郎、青木伸俊、
大野隆央、白鳥正樹、井手貴範、立石勝、青柳岳司（敬称略）
オブザーバー 吉田有一郎（敬称略）

議事

1) 前回委員会議事録確認

メールベースで確認済みとして、承認された。

2) 新メンバー自己紹介

吉田有一郎様（東芝インフォメーションシステムズ㈱）

本日はオブザーバーとして参加。正式就任は2月。

3) シンポジウム開催に向けての準備

佐々木委員長より、各ご講演の趣旨と骨子（たたき台）説明：配布資料参照

意見概要

- ご講演の先生方に対する書面での講演依頼は省略する。
- 円滑な運営のためにはお手伝いが必要
 - 会場係：テクノスターから二名、受付：アスミスから一名
 - 会場照明のスイッチが二階にあることに注意。
- 事前のパワーポイントファイル表示、パソコンの接続確認必須。
 - 予備のパソコンを事務局に用意いただく。
- パネルディスカッション名札（座席の前に垂らす）は、事務局で作成（印刷）いただく。
 - 原稿は、委員が作成する。
- 共催の打診；萩原先生
- ポスター作製
 - 学術会議からの告知用（PDF）。
 - ✧ 事前申し込みあり。当日参加可。無料。
 - 当日会場前掲示用（印刷物 A0 もしくは A1）
- パネルディスカッション（総合討論）の進め方
 - 「三つの視点」；パネリストの方々に、どの視点でコメントいただくのか事前に確認する。複数の視点からのコメント可。
 - フォーマットを定めて、パネリストの方々に事前提出いただく（2月12日締め切り）。

- 現状ではソフトウェア開発者が評価されない。メンテナンスも評価されない。
- 「サイエンス」と「エンジニアリング」では評価の視点を変えるべき。
- 「インダストリーファクター」について、萩原先生の講演で予め触れていただく。
- 「インダストリーファクター」を普及させる手順：まずソフトウェア分野から提言を発信して、三部の共通課題に昇格させると良い。
 - 機械、土木なども巻き込むことを目指す。
- アンケートの準備

次回開催

2月14日午前；シンポジウム当日

昼食をとりながら、シンポジウムの最終確認打ち合わせ。

配布資料

公開シンポジウム「AI時代のもの・コトづくりに向けた新たな計算科学活用における課題と期待」

- ・開催について（提案書）
- ・骨子（佐々木委員長）